

<p style="text-align: center;">研究構想シート</p>	<p>学校名</p>	<p>安来市立第二中学校</p>
	<p>氏名</p>	<p>村本 知里</p>
<p>A 研究主題 総合的な学習の時間を軸とした教科横断的カリキュラムの構築 ～生徒の社会的な自立と、確かな学力の育成をめざして～</p>		
<p>B 研究の目的 めざす子どもの姿である「目標を持ち、困難な課題に、あきらめずに粘り強く取り組む生徒」「自ら課題を見つけ、他者と協働して考え、確かな知識・技能をもとに判断し、表現する生徒」を育成するため</p>		
<p>C 子どもの実態</p> <p>○三世家庭が多く、多くの大人に支援されている。</p> <p>○男女を問わず仲がよいが、ほとんどが少数の小学校から入学し、現在でもクラス替えのない集団のため、人間関係が固定化し、コミュニケーション力に課題がある生徒もいる。</p> <p>○真面目で素直な生徒が多く、学習面でも、与えられた課題についてはまじめに取り組むが、自ら課題を見つけ、主体的・対話的に思考を深めるとい点では、難しい生徒もいる。</p> <p>○家庭学習の時間が少なく基礎的・基本的な内容が定着していない生徒がいる。</p>	<p>E 手立て・内容（研究仮説）</p> <p>○生徒が主体となって課題を解決する活動を増やすことが大切であると考えた。そこで、育てたい資質・能力を明確にした授業改善を各教科で行い、その資質・能力を活用するために総合的な学習の時間を軸とした教科横断的カリキュラムを構築することで、めざす生徒像の実現を図ることとした。</p> <p>F 検証方法</p> <p>○全国・島根県学力調査、学校評価アンケート、生徒アンケートなどの結果をもとに検証する。</p> <p>G 研究計画</p> <p>1 「総合的な学習の時間」の改善</p> <p>①一人一探究課題の設定や探究活動の内容についての助言 ②地域支援コーディネーターとの連携 ③年間指導計画の中の位置づけ</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びをめざした授業改善</p> <p>①キャリアパスポートの重点項目「高め合う力」「挑戦する力」との関連を明確化</p> <p>②話し合い活動の質の向上 ③一人一授業公開の実施</p> <p>3 ICT活用</p> <p>①ICT活用教育研究指定校事業の活用②教職員研修</p> <p>4 基礎・基本と学習習慣の定着</p> <p>①学習会②漢字、計算、英単語の一斉基礎力テスト③クロムブックを活用した自学</p> <p>5 集団づくりをめざした取組</p> <p>①学年目標発表会の実施②授業公開日にむけて授業案検討 ③人権・同和教育の教職員研修 ④メンター制度</p>	<p>D めざす子どもの姿</p> <p>「目標を持ち、困難な課題に、あきらめずに粘り強く取り組む生徒」「自ら課題を見つけ、他者と協働して考え、確かな知識・技能をもとに判断し、表現する生徒」</p>